

## M2M を活用した機器ライフサイクル管理を実現するクラウドサービス 「Global e-Service on TWX-21/M2M サービス」を開発

株式会社日立製作所(執行役社長:中西 宏明/以下、日立)は、このたび、機器の製造・販売を、グローバル市場で展開する国内企業に向けて、SaaS<sup>(\*)</sup>型機器ライフサイクル支援サービス「Global e-Service on TWX-21」に、M2M<sup>(\*\*)</sup>を活用した機器のライフサイクル管理を実現する機能を拡充した「Global e-Service on TWX-21/M2M サービス」(以下、M2M サービス)を開発し、12月1日から申し込み受付を開始します。

「Global e-Service on TWX-21」は、機器の製造・販売、稼働や保守などの情報を収集・蓄積し、その情報を共有・利活用することで、機器のライフサイクル管理を実現するクラウドサービスです。今回、情報収集した稼働情報を閲覧する機能や異常な状況を知らせるアラーム機能、そして遠隔停止を実現するといった機能を拡充したほか、管理したい機器から情報を収集するために必要な通信事業者が提供するデータ通信サービスも含めて提供します。M2M サービスを活用することで、自社での新たなアプリケーションの開発の必要がなく、迅速かつ低コストで、M2M を活用した機器のライフサイクル管理のシステムを構築できます。これにより、稼働状況や位置などの情報と「Global e-Service on TWX-21」に蓄積した保守情報などの機器ライフサイクル情報を組み合わせて分析した結果を活用し、顧客ニーズを反映した新製品の開発や保守作業の効率化、在庫の最適化など、アフターサービスの高度化を実現するといった新たな価値を創出できます。

\*1 SaaS (Software as a Service) : 必要な機能を必要な分だけサービスとして利用可能にしたソフトウェアもしくは提供形態のこと

\*2 M2M(Machine-to-Machine) : 機械同士が、人間を介さず、ネットワークを通じて直接情報を交換するシステム

近年、機器を製造・販売する国内企業は、機器単体の性能、高機能化を追求する従来のビジネスモデルより、さらなる高収益が期待できるメンテナンス、機器保守や部品販売などのアフターサービス事業への関心が高まっています。また、製造業のグローバル展開に伴い、自社で IT インフラを所有することによる維持・運用コストや人的リソースを抱えることが経営上の負担となっていることから、低コストで効率的な機器のライフサイクル管理を行うことが求められています。さらに、製品に不具合が発生した際、その原因の切り分けや具体的な対策立案に時間がかかってしまう、部品の需要が分からず、部品の過剰在庫や欠品が発生しやすいといった課題を抱えており、世界中で稼働している機器からの情報を適切なタイミングで把握したいという需要が増えています。

日立は、日立建機株式会社(執行役社長:辻本 雄一/以下、日立建機)が世界100以上の国・地域で運用・蓄積してきた業務ノウハウを生かし、クラウドサービスで提供する SaaS 型機器ライフサイクルサービス「Global e-Service on TWX-21」を開発し、2012年9月から提供しています。

今回の M2M サービスは、「Global e-Service on TWX-21」に、M2M のシステムに必要な機能を拡充したほか、通信事業者のデータ通信サービスを加えて提供するものです。

M2M サービスを活用することで、例えば、自動収集した稼働情報をタイムリーに活用し、最適な保守計画の立案や的確な保守部品の携行による業務効率化を実現するほか、アラーム情報を活用し、故障対応の時間短縮による、アフターサービスの顧客満足度向上などにつなげることができます。また、遠隔での機器への命令・制御を実現する機能により、盗難時に機器の遠隔停止やロックといった盗難の防止が可能となります。さらに、M2M サービスで新たに取得可能となる稼働情報や位置情報に加え、既に「Global e-Service on TWX-21」上で蓄積されている機器のライフサイクルに関わるさまざまな情報を組み合わせることで、例えば、現場や地域特有の顧客ニーズを反映した新サービス・製品の開発や正確な部品需要予測に基づく生産計画の策定、コストの最適化など、全社視点での売上拡大・経営効率化をサポートします。

日立では、これまでもお客様への M2M の仕組みをご提供すると同時に、日立自身が一製造業としての立場で、M2M の企画、導入、運用を推進し、課題解決のノウハウを蓄積してきました。このような実業で培った技術やノウハウをもとに、M2M サービスにおいても、センサー、端末、通信キャリア、分析技術、アプリケーションなど、多岐に渡る構成要素を考慮し、機能を強化しました。

日立は、プロダクト、サービス、IT を組み合わせたソリューションによりイノベーションを実現し、社会・お客様が抱える課題を解決する、社会イノベーション事業のグローバル展開を加速しています。その中で果たす IT の役割のひとつとして、O&M クラウド<sup>(\*)</sup>を活用したサービス事業を推進しています。今回の M2M サービスもそのひとつとして、M2M を活用したアフターサービス事業の革新に向け、コンサルティングサービスによる企画支援から、グローバル展開に必要な準備・教育の提供、運用に当たってのサポートサービスまで、一連のサービスを提供していく予定です。

\*3 O&M クラウド: Operation and Maintenance の略。運用・保守業務のノウハウを標準化し、クラウドで提供する形態のこと

今後も日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」(ハーモニアス クラウド)のラインアップで国内最大規模の企業間ビジネスメディアサービス「TWX-21」の SaaS 事業支援サービスを利用した「Global e-Service on TWX-21」のソリューションメニューを拡充し、グローバルに提供することで、お客様への新たな価値創出を支援します。

## ■「Global e-Service on TWX-21」の M2M サービスを含めた全体概要



## ■「Global e-Service on TWX-21」の全体メニュー



## ■サービスの価格および提供開始時期

サービス名称		価格 (月額・税込)*4	申し込み 受付開始	サービス 提供開始時期
Global e-Service on TWX-21	機械管理 ドキュメント管理	525,000円～ (税抜: 500,000円～)	2012年7月19日	提供中
	M2Mサービス	個別見積	2013年12月1日	2014年5月1日

\*4 最小ユーザー数: 10ユーザー

\*稼働環境 (OS): Microsoft Windows® XP Professional 32bit、Microsoft Windows® 7 Professional 32bit、  
Microsoft Windows® 7 Professional 32bit、64bit

\*対応ブラウザ: Internet Explorer 8、Internet Explorer 9

## ■「Global e-Service on TWX-21」に関する Web サイト

<http://www.hitachi.co.jp/gest/nr31017/>

## ■売上目標

2015年度までに約17億円の売上

## ■企業間ビジネスメディアサービス「TWX-21」について

「TWX-21」は1997年にサービス開始し、現在では、約400業種、約50,000社(20ヶ国・地域)に利用されている国内最大級の企業間商取引基盤です。「TWX-21」の基盤を活用し、複数の企業間活動にかかわる設計・製造管理や受注管理など企業の業務システムを支援するクラウドサービスとして、各種業種、業態別に提供するアプリケーションサービスの拡充を図っています。

また、サービス開始以来、ユーザー企業のニーズをいち早く把握するため、「グローバルヘルプデスク」および「ユーザー連絡会」を設置し、利用ユーザーが安心して使い続けられるサービスの環境を提案しています。今後も、「TWX-21」上で実現するさまざまなアプリケーションサービスの開発とさらなるメニューの拡充を図っていきます。

<http://www.twx-21.hitachi.ne.jp/>

## ■「TWX-21」SaaS 事業支援サービスについて

<http://www.twx-21.hitachi.ne.jp/contents/partners/SaaS/index.html>

## ■日立のクラウドソリューション「Harmonious Cloud」について

<http://www.hitachi.co.jp/cloud/>

## ■Hitachi Innovation Forum 2013出展について

日立は、2013年10月30日(木)～31日(金)に東京国際フォーラムで開催するHitachi Innovation Forum 2013において、「Global e-Service on TWX-21」を紹介します。

<http://iforum.hitachi.co.jp/>

## ■他社商標注記

- ・Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・「Global e-Service」は日立建機株式会社の登録商標です。
- ・その他、記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 エンタープライズソリューション営業統括本部

産業第二営業本部 日立グループ営業第一部 [担当:片木]

〒140-8573 東京都品川区南大井六丁目26番2号 大森ベルポート B 館

電話: 03-5471-2547 (ダイヤルイン)

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---